

柳条湖事件から 94 年 9・18 街頭宣伝 日中友好協会倉敷支部 犬飼繁

9月18日日中友好協会倉敷支部は倉敷駅南口で表記の宣伝行動を実施しました。今回は午前11時から約1時間、宇野理事長、片岡淑子さん、三宅誠志さんと私の4人が参加して行いました。なかなかビラを受け取ってくれない人が多い中で、「今日9月18日は満州事変のきっかけとなった柳条湖事件が起こった日です。」と呼びかけると、「おお、今日がそうか。」と言いながら受け取ってくれる人もいました。

高市早苗氏が自民党の新総裁になり、今後の日中関係の動向が懸念される中、「日中不再戦」を呼びかける有意義な街頭宣伝となりました。

全ての紛争の平和的手段による解決を

日中戦争で日本は何をしたか、戦争を繰り返してはならない

日中友好協会は、かつて日本軍国主義が中国への侵略戦争を推し進め、多くの兵士が人間性を失って、罪のない中国の民衆の生命財産を奪う加害行為を犯した史実を告発するとともに、二度と過ちを起こさない様訴え続けてきました。いま、ロシアの侵略によってウクライナの市民が犠牲になり、かつての日本軍と同様にロシア軍による略奪や強制連行などが行われていると伝えられるなかで、あらためて戦争を繰り返してはならないことを強く訴えます。

日中両政府が誓い合った日中共同声明の精神こそ

1972年の日中共同声明は、日中両政府が平和五原則と国際連合憲章の原則に基づいて「すべての紛争を平和的手段により解決し、武力又は武力による威嚇に訴えないことを確認する」と宣言しました。ロシアのウクライナ侵略、イスラエルのガザでのジェノサイドなど、生命と平和を踏みにじる暴挙を止め、全ての紛争を平和的に解決するために、国際社会が日中共同声明の精神に立ち返ることを強く訴えます。

軍事的な対立ではなく平和的な外交努力を

いま日本では、中国の脅威などに対抗するためとして、敵基地反撃能力向上と称し、沖縄県を中心に、全島基地化はじめ大軍拡が進められています。GDP（国内総生産）の2%への増額、5年間で総額13兆円、2025年度は8.7兆円にも達しています。アメリカの対中戦略の一環として「台湾有事」が喧伝されていますが、武力による威嚇や軍事的な対抗ではなく、平和的な外交努力による解決を目指すことが求められています。

日中戦争・アジア太平洋戦争の終結から80年の節目にあたる年に、過去の悲劇的な歴史から教訓をくみとり、未来への平和の道を考えることは、重要な意義を持ちます。日中両政府がアジアと世界の平和に貢献する協力関係を築き、国際紛争の平和的な解決のために共同して努力を重ねることを強く訴えます。

人間であることを許さない戦争の本質を訴え続けた体験者たち

一人一人の兵士を見ると、みんな普通の人間であり、家庭では良きパパであり、良き夫であるのです。戦場の狂気が人間を野獣にかえてしまうのです。このような戦争を再び許してはなりません。

村瀬守保さん（1988年7月死去）

自動車部隊の一兵士として従軍した2年半の間に約3000枚の写真を撮影。この写真には、南京大虐殺、日本軍「慰安所」や日常的に繰り返された日本軍による殺戮行為と、日本兵の日常生活が映し出されている。



愛の心、慈悲の心、人々を愛する心を持っているか持っていないか、それこそが戦争を食い止める大きな力になってくるんじゃないか。人を愛することができる人になってもらいたい。戦争をしないために頑張ってもらいたい。

永富博道さん（2002年11月死去）

南京大虐殺の現場で初めて中国人を虐殺。「閻魔大王」と恐れられ、特務機関員として暴虐の限りを尽くす。撫順戦犯管理所で「命の尊さといわりの心をもった優しい人間になれと導いてもらい」、「自分の犯した罪は死んでも償いきれない。いかなる制裁も受ける」との心境に至り、帰国後は証言活動を続けた。

中国「残留孤児・婦人」2世が人間の尊厳をもって笑顔で暮らしていくために —法律の改正を求めています—

中国残留邦人帰国者1世に対しては、日本政府は2008年に法律を改正し、生活保護に替わる制度として生活支援給付と老齢年金の満額支給等の支援を行っています。また、2014年からは1世と死別した配偶者についても同様に支援を行っています。

その一方で、2世に対しては、ほとんど支援がなく、2世の多くは、日本語がままならず、安定した仕事に就けず、6割以上の2世が生活保護に頼らざるを得ないという過酷な状況に置かれています。

中国残留日本人の2世は、1世と同様に日本政府による帰国制限政策、および自立支援の欠如が生み出した被害者です。2世問題の解決を求める請願署名へのご協力をお願いします。

日本中国友好協会

〒111-0053 台東区浅草橋5-2-3 鈴和ビル5階

☎03-5839-2140 FAX03-5839-2141 E-mail: nicchu@jcfa-net.gr.jp

公式HP: <https://jcfa-net.gr.jp> X (旧Twitter): @jcfa_honbu

連絡先



敬老会 & あなたが1番運動会

小規模多機能施設いほり

残暑厳しい9月15日恒例の敬老運動会が開催されました。社長の挨拶の後スタッフの太極扇、利用者さんの心染み入る笛とピアノの音色、思わず口ずさみ、はずむリズムのハーモニカ、体もウキウキ踊りだします。

休憩をはさんで運動会、まずはストレッチ足の先からゆっくりほぐします。赤チーム青チーム分かれての激闘です。スタッフのお子さん達もボーリングの玉を取りに行ったり、倒れたピンを並べたり、大活躍。玉があらぬ所に行ったり、ピンを飛び越えたり大爆笑。次は輪投げ、皆さん表情がきりっと引き締まり真剣そのもの、ボードを支えるペットボトルに入ったり棒と棒の間にはさまったり、笑いの渦。玉渡しアイスホッケーの選手さながらに玉を先へ先へ渡します。しかしなかなかかごに入らない。次は玉入れ一つでも多く入れようと玉が空を舞います。しまいには立ち上がり、かごのふちを持って放り込む選手も！？最後はパン食い競争、いつもはおしとやかなレディも大口開けてパクリ、素早く手でもぎ取り口へ持っていく選手も、それはそれで大爆笑、穏やかな時が流れ、皆さん最優秀賞をとられ健康をかみしめた1日となりました。

日中友好協会岡山支部ホームページ
<http://rizhongyouhao.iinaa.net>
メールアドレス
rizhongyouhaoiehuokayama@yahoo.co.jp



岡山県華僑華人総会国慶節祝賀会 2025

河井伸士

9月28日岡山プラザホテルで上記のもよおしがあった。

岡山県内には中国の人達が7000人ぐらい居ると言う。式次第は中国国歌、日本国歌、華僑華人総会歌の斉唱に始まり、劉勝徳会長の挨拶、来賓紹介に続き「新段階に入った日中関係」凌星光氏、「日中関係と華僑の法的問題について」林伯耀氏の講演があった。その後懇親会に続き歌や大極拳、空手の演武、二胡の演奏等があった。

台頭する中国の経済力によって米中の対立が深まっていますが、日本は、独立自主の外交が求められています。「台湾有事は日本有事」と言った安倍晋三、台湾に行きもっとガンバレと言った麻生太郎等はいたずらに緊張を強めるだけです。日本は難民認定が少ない国ですがそれに加えて外国人をターゲットにした排外主義が広がっています。世界の国と仲良くするべきでしょう。



「秋、大人の遠足」

木原 文代

9月28日、12名で太極拳講習会のメンバーが所有する栗畠、鷹取醤油、麒麟ビール岡山工場へと出かけてきました。

栗はもらえた時に食べるもの、だったので、落ちているイガを足で踏んで中身を取り出す作業がこんなにも面白いとは！体験して初めて知りました。

お弁当タイムは大きな栗の木の下で。食後のデザートはキャラメルぽい醤油味か、チーズケーキぽいボン酢味かのソフトクリームを鷹取醤油にて。

ビール工場見学は10年前より充実感がアップしていて感心しました。施設改修や試飲スタイルの見直しに力を入れたそうです。工場ならではの美味しい生ビールに酔いしれながらふと脳裡をよぎったのは、「あの大量の栗、どうしよう・・・」遠足の余韻が長く続きそうです。



次回の新聞放送作業は
10月28日(火)午前10時半か
ら民主会館で行います。
前回お手伝いくださった方
です。

青木ゆよ
犬飼
貝吹
河井
真田